

# 社会科教育法Ⅳ

## 新たな農業教育の提案

馬居ゼミ 授業者 寺田祐基  
協力者 根岸康三  
早川由貴  
指導教官 馬居政幸

# 目次

1,テーマ設定の理由(3～7)

2,教材研究(8～20)

1)指導要領上の位置付け

2)従来 of 農業教育

3)現在の農業

4)新たな産業としての農業(6次産業)

3,単元構成(21)

# 1,テーマ設定の理由

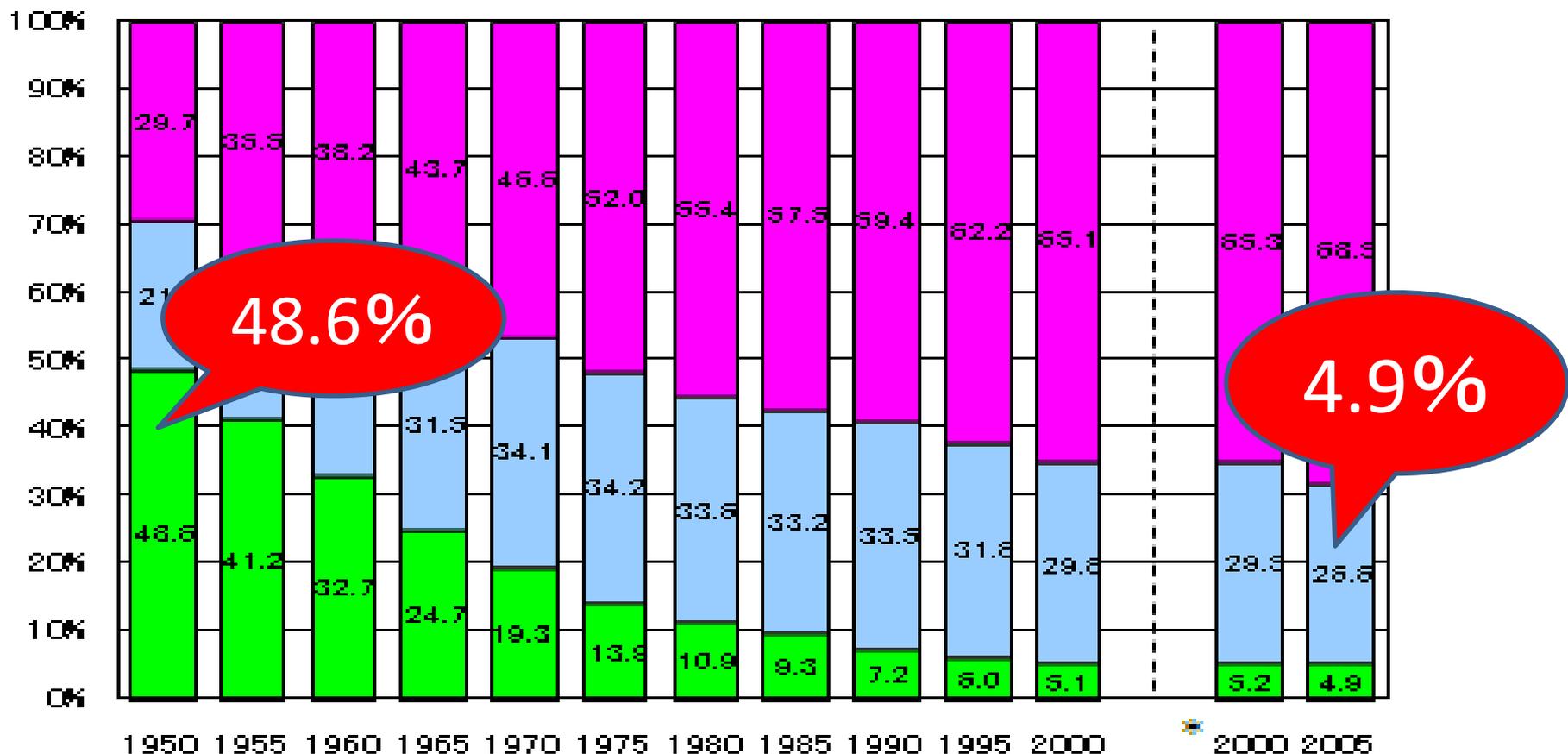
現代の農業には様々な問題が...

- 1) 第一次産業の就業者の減少
- 2) 農業就業者の高齢化
- 3) 食料自給率の低下

# 1) 第一次産業の従事者の減少 産業別就業者数の推移(1950年~2005年)

産業(3部門)就業者の割合の推移  
(1950年~2005年)

- 第1次産業
- 第2次産業
- 第3次産業

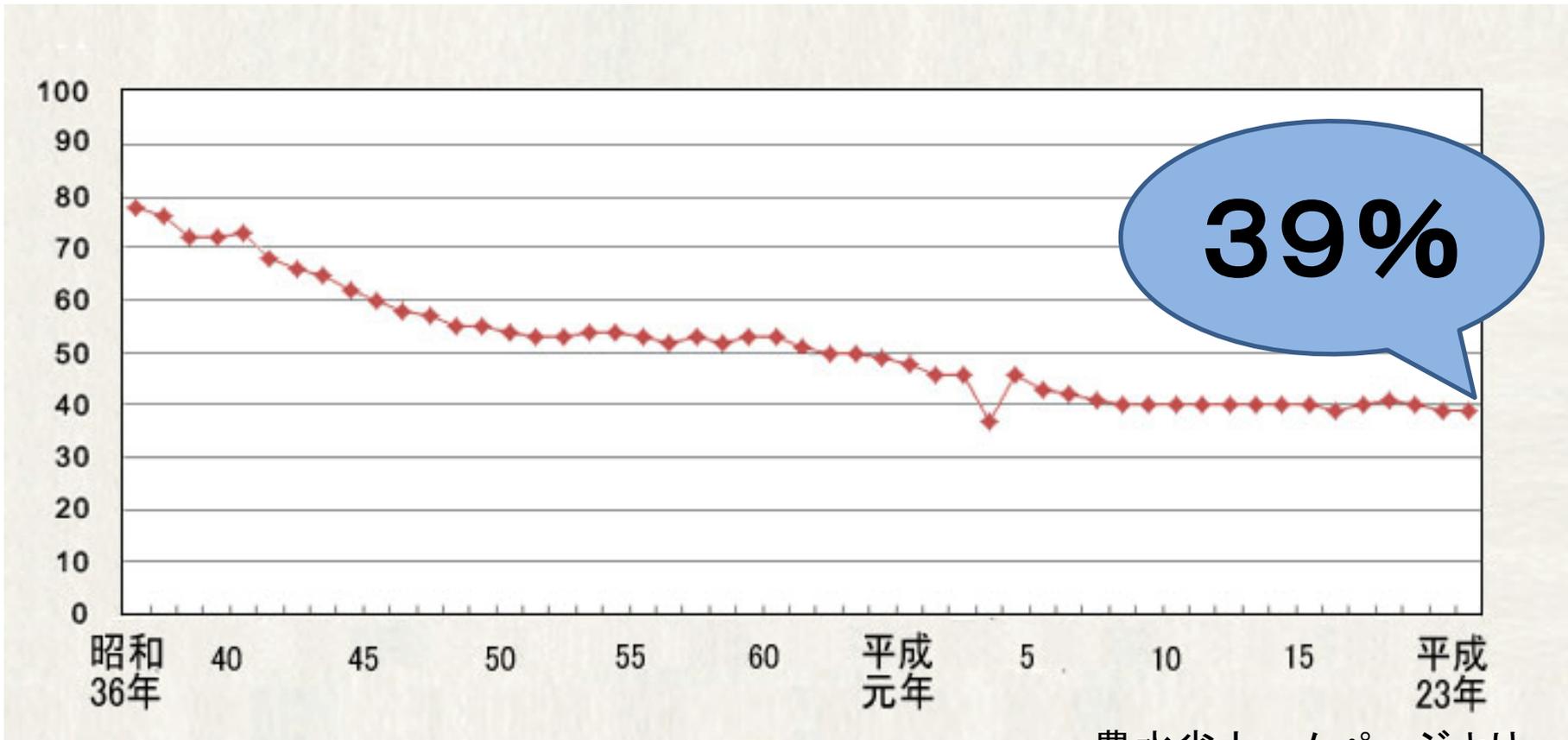


## 2) 農業就業者の高齢化

	総数 (1,000人)	15～59歳 (1,000人)	60歳以上 (1,000人)	60歳以上 の割合
1980年	6,973	4,475	2,498	35.8%
2010年	2,606	692	1,914	73.4%

農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計  
課「世界農林業センサス農家調査報告書」  
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/g1507.htm>  
より作成

### 3) 食料自給率の低下



農水省ホームページより

食料自給率の詳しい問題点についてはFOOD ACTION NIPPON (<http://syokuryo.jp/fan/japanese-problem.html>)をご覧ください。

- 暗くマイナスイメージばかりの農業。現実として様々な問題点がある。
- でも農業は私たちの生活の中核になる食料を生産しているために、なくてはならないもの。
- 農家になる子どもを育てるのではなく、**消費者としてどのように農業に関わっていくのか**、子どもにたちに考えさせたい。

## 2,教材研究

### 1) 学習指導要領上の位置付け

#### 第5学年の目標

(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活の関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

(内容の取扱い)

農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとする。

⇒庄内平野をモデルとして取り扱うことが多いが、地元の農業を取り扱うことができないのでは？

⇒小学校3.4年生で地元の農業について扱うことがあるかもしれないが、それは地域学習の一環。産業学習として、地元の農業を扱いたい。

## 2) 従来の農業教育

### ①教科書(東京書籍 新しい社会5上・下)について



#### 目次

- 1 わたしたちの国土(45ページ)
- 2 わたしたちの生活と食料生産(55ページ)
  - ①米づくりのさかんな庄内平野(22ページ)
  - ②水産業のさかんな静岡県(13ページ)
  - ③これからの食料生産とわたしたち(20ページ)
- 3 わたしたちの生活と工業生産(53ページ)
- 4 情報化した社会とわたしたちの生活(28ページ)
- 5 わたしたちの生活と環境(32ページ)

# 指導計画(全10時間)

- ①米づくり列島・ニッポン
- ②庄内平野をたずねて
- ③水と土と風と人と
- ④、⑤岡部さんの200日
- ⑥つながりの輪のなかで
- ⑦岡部さんと米づくりの仲間たち
- ⑧庄内の農業を支える人々
- ⑨おいしい米を全国へ
- ⑩1まいのグラフから一米づくりの未来を考える

生産者側からの視点のみ。大切なのは消費者としての視点では？

## ②授業時間数

5年生の社会科の授業時間は全100時間

	ページ数	時間数	産業構造の占める割合(2005年)
第1次産業	55ページ	26時間	4.9%
第2次産業	53ページ	24時間	25.5%
第3次産業	28ページ	16時間	69.6%

5%をきっている第1次産業に最も多くの時間をかけている。  
社会の実態と学習内容のギャップ？  
そもそもなぜ第1次産業に多くの時間を割いているのか？

参考)東京書籍 新しい社会5 年間指導計画  
<http://www.tokyo-shoseki.co.jp/>

### ③産業学習の変遷

産業学習の構造がどのように変化してきたのかを過去の教科書を調査した。

指導要領改訂年	出版社	全ページ数	1次産業		2次産業		3次産業	
			ページ数	割合(%)	ページ数	割合(%)	ページ数	割合(%)
1968年	東京書籍	240	102	43	112	47	-	-
1977年	東京書籍	212	80	38	79	37	-	-
1977年	教育出版	216	89	41	85	39	-	-
1977年	大阪書籍	224	93	42	81	36	-	-
1989年	帝国書院	167	67	40	30	18	34	20
1989年	学校図書	166	59	36	53	32	28	17
1989年	教育出版	180	57	32	61	34	35	19

寺田・根岸調査より作成

- 教科書に初めて第3次産業が登場したのが1989年改訂のとき。
- この時すでに第3次産業は59.4%を占めている。
- 1975年の時点ですすでに第3次産業が5割を超えているのにも関わらず、1977年改訂では第3次産業は取り扱われなかった。

# 3) 現在の農業

## ① 私たちの国土と農業

日本の国土面積は377,950km<sup>2</sup>  
耕地面積は42,440km<sup>2</sup>

国土のおよそ  
11%が田んぼや畑！

静岡県の面積は7,255km<sup>2</sup>  
耕地面積は642km<sup>2</sup>

静岡県のおよそ9%  
が田んぼや畑！

## ②農作物の作付面積

		延べ面積	稲	麦	豆	果樹	野菜	工芸農作物	飼肥料農作物
全国	面積	42,440	16,240	2,664	1,975	2,507	5,518	1,695	10,080
	割合	-	38%	6%	5%	6%	13%	4%	24%
静岡県	面積	642	177	82	49.6	91.9	91.3	193	28.4
	割合	-	28%	13%	8%	14%	14%	30%	4%

※工芸農作物とは原料となる農作物のことで、主にさとうきび、茶、なたねなどの作物を指す。

引用)統計局ホームページ 7-10 耕地面積  
7-13 都道府県別農作物作付面積延べ面積  
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/07.htm>

- 全国では稲の作付面積が最も多い。
- 静岡県で最も作付面積が多いのは工芸農作物。  
⇒ 伝統的にお茶の生産が盛んだから？
- 各県・各地方で盛んな農業が異なるにも関わらず、全国一律で同じように稲作を学習していてもいいのだろうか？
- もっと身近な地域の実態にあった農業を学ぶべきではないのか。

## 4) 新たな産業としての農業(6次産業)

### ①6次産業とは

6次産業とは1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す産業のこと。

6次産業の生産額は95.3兆円。これは国内生産額の11%を占める。

引用)平成24年度版 食料・農業・農林白書 P.189

## ②6次産業のイメージ図

- ・農林水産物
- ・食品産業
- ・観光産業

**地域資源の  
有効活用**

・生産・加工・流通の一体化による付加価値の拡大

・農林漁業と2次・3次産業との連携・融合による新たな産業の創出

**マーケットの拡大を  
図りつつ、農林漁村  
の6次産業化**

農林水産業者による加工・販売分野の取組

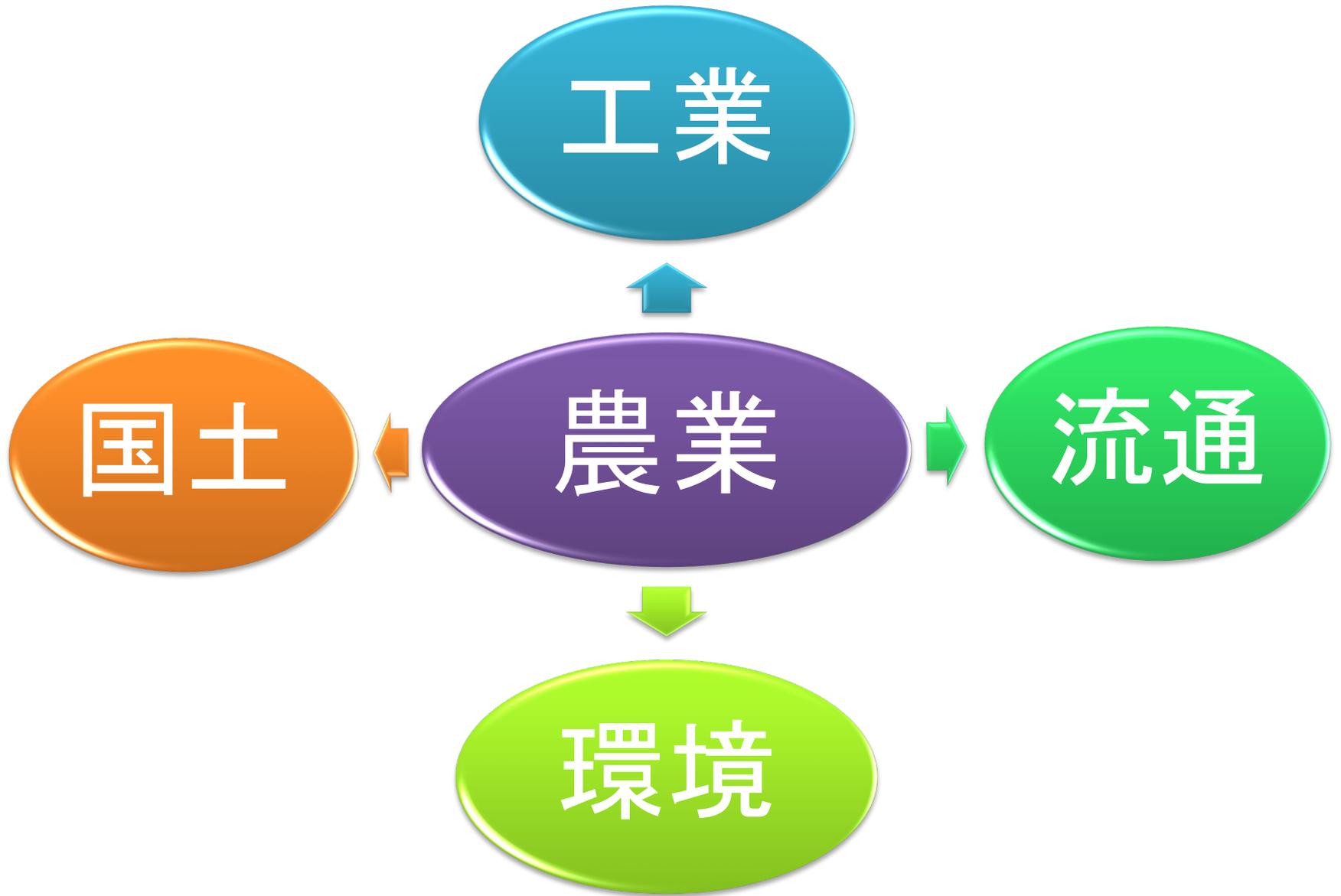
○雇用の確保と所得の向上による農林漁村の再生・活性化

○消費者が安心して買うことのできる地元ブランドの農林水産物

**新たな付加価値を  
創出**

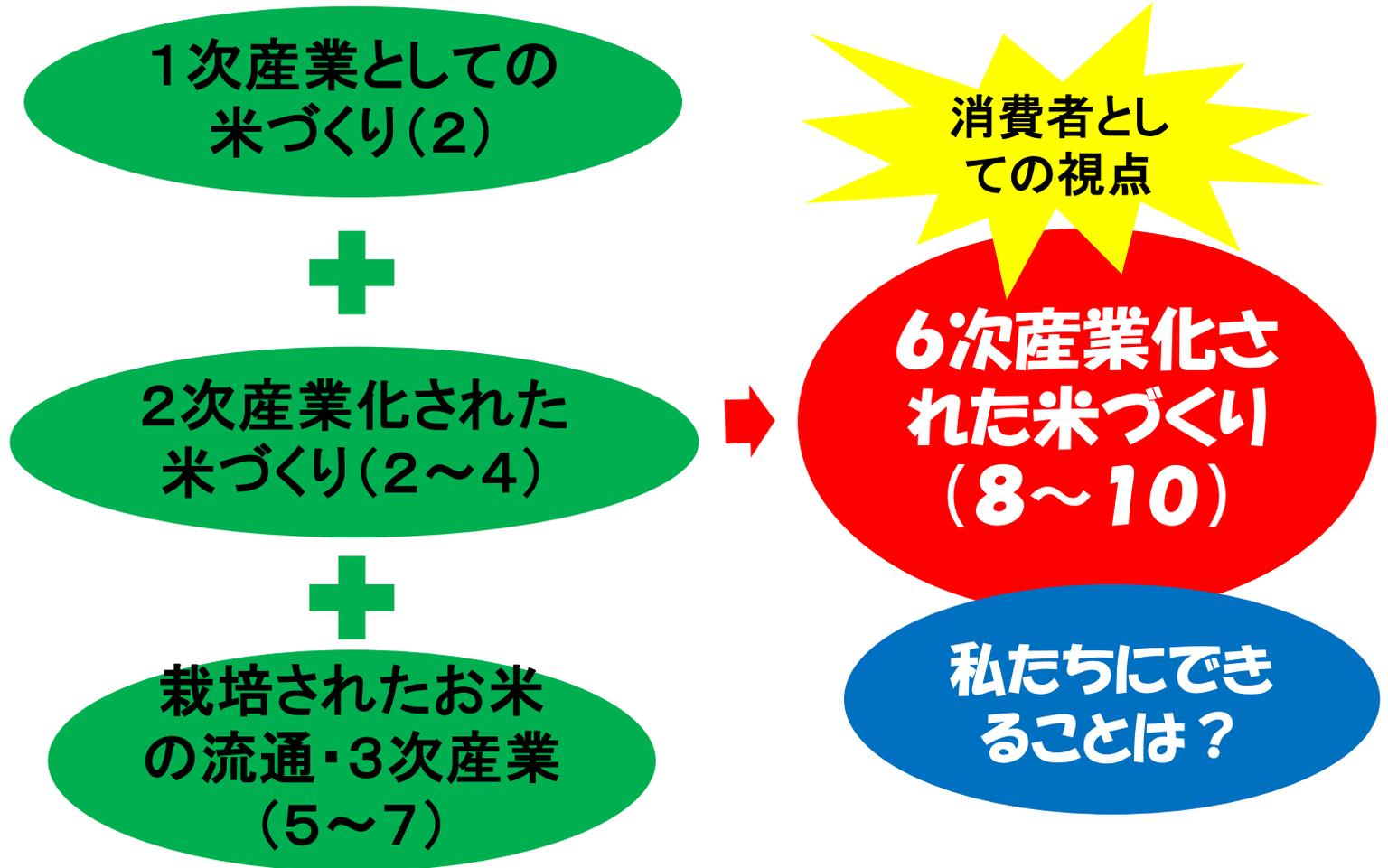
### ③教材としての6次産業

- 農業を中心とした新たな産業である6次産業の可能性。産業学習の中心となるべき存在になり得る！
- 消費者としての視点。安心・安全な地元の食材を食べることのメリット。またそれが日本の農業を守っていくことにつながる。



# 3, 単元構成 (全10時間)

お米づくりに対する動機づけ(1)



12/19(水) 1時間目  
社会 5年1組

# お米について知っていること！

- ・おいしい！
- ・新潟県が有名。
- ・ご飯だけじゃなくて、お餅とかお煎餅にも使われる。
- ・理科の時間にお米にはデンプンが含まれてるって習った。
- ・おじいちゃんがうちで作っている。
- ・登下校の最中によく農家の人を見る。
- ・2年生の時に田植えをしたことがある。
- ・栽培方法が分かる！



**今と昔(戦前)の農業を比べてみよう!**



# 代かき



**30a(3000m<sup>2</sup>)を30分!**

# トラクター



1000万円

# 田植え



30aを30分！

# 田植え機



400万円

# 稲刈り



**30aを60分！**

コンバイン

1200万円

# 稲の収穫後



②乾燥

250万円

①刈り取った  
稲はこの中  
^

### ③もみすり



The image shows a complex industrial environment, likely a factory or processing plant. In the center, a large white machine with a hopper and a green discharge pipe is visible. To its left, a red overhead crane is mounted on a steel beam. Below the crane, a blue callout bubble contains the text '④計量・袋詰め'. In the lower-left foreground, there is a smaller white machine with a digital display showing '0000'. The background consists of a dense network of steel beams and pipes, with some windows allowing natural light to enter. The overall scene is industrial and somewhat cluttered.

# ④計量・袋詰め



出荷用のお米

# 代かき



# 田植え



引用)北日本新聞ウェブ <https://webun.jp/member/login/>

# 稲刈り



引用) <http://tokimekifarm.blog17.fc2.com/blog-date-201110.html>

**乾燥**

引用) <http://www.new-fukushima.jp/archives/18268.html>

# 千歯こき



# うす



引用) <http://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000005750.html>

# とうみ



引用) <http://www.city.itami.lg.jp/home/ED/EDSHOGAI/EDMUSEUM/>



# 考えてみよう！



- ・今と昔の農業はどのように変わっていたかな？
- ・変わったことで何かいいことはあるかな？





なんで今と昔でこんなにも農業が変化したの  
だろう？予想してみよう！

